

塩類集積対策で生育改善 トルコギキョウ栽培事例

作物生産研究部 園芸作物開発課
TEL:0123-88-1990
E-mail:engeisakumotu@hokuren.jp

概要

- トルコギキョウの品質低下の一因として、圃場の塩類集積が問題となっています。
- ①塩類集積圃場において**基肥を減らし、灌水頻度を増やして栽培**したところトルコギキョウの生育が改善しました。
 - ②またクリーニングクロープとして**スイートコーンとソルゴー**を栽培したところ、**窒素とカリが減少**しました。

方法・結果

①トルコギキョウ生育改善事例

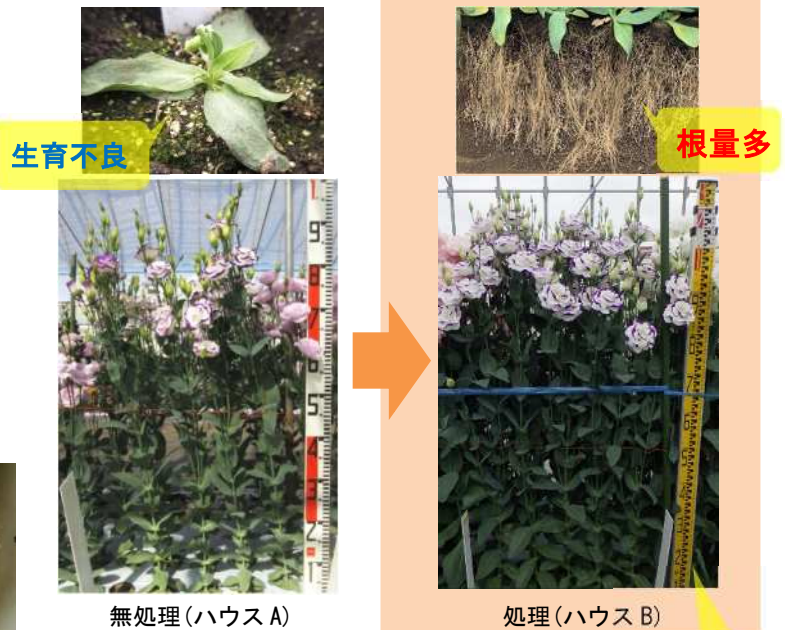
作付前ECと基肥施肥量

	EC (mS/cm)	基肥施肥量(kg/10a)		
		窒素	リン酸	カリ
無処理 (ハウスA)	1	5	4	15
処理 (ハウスB)	0.9	0	0	10

基肥を減らし、追肥頻度を増加(週1回程度)



定植後1ヶ月は手灌水を実施(週2~3回程度)



	切花長 (cm)	分枝数 (本)	花蕾数 (本)	茎径 (cm)
ハウスA	94.2	5.0	14.8	5.5
ハウスB	108.5	5.7	19.4	7.9

ハウスAとハウスBの結果は同品種によるもの

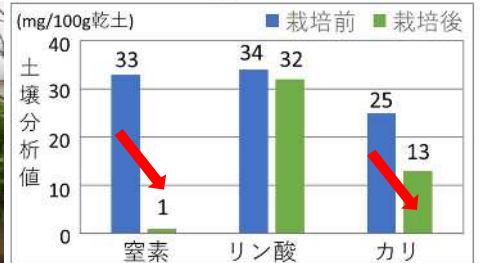
②クリーニングクロープの効果

	播種日	播種量 (kg/10a)	抜取時期
スイートコーン	7/21	2.2	9月中旬
ソルゴー*	8/1	6	9月下旬

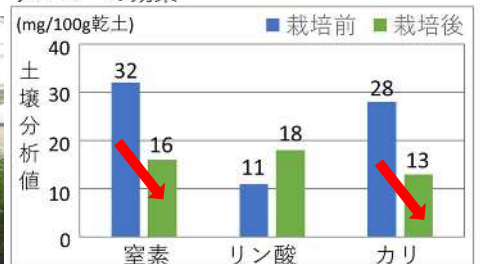
*サイアーを混播(播種量:15kg/10a)



スイートコーンの効果



ソルゴーの効果



結果の活用案

トルコギキョウの栽培管理および塩類集積対策の一例として活用する。

両品目とも窒素・カリが減少